

かつて神沼と呼ばれた
見沼田んぼを自然と
共生する田圃へ

～自然と共に育む稲づくり～

NPO法人見沼の里

1.日本の農業の現状

日本の農業人口
約116万人
全人口の約1%
平均年齢69歳

農業従事者の
7割以上が
65歳以上
の高齢者

農業従事者の
平均引退年齢
74歳

1. 日本農業の現状

5年後に日本の食糧を支える
農業従事者は...

激減の危機！

新規就農者数

約3万人



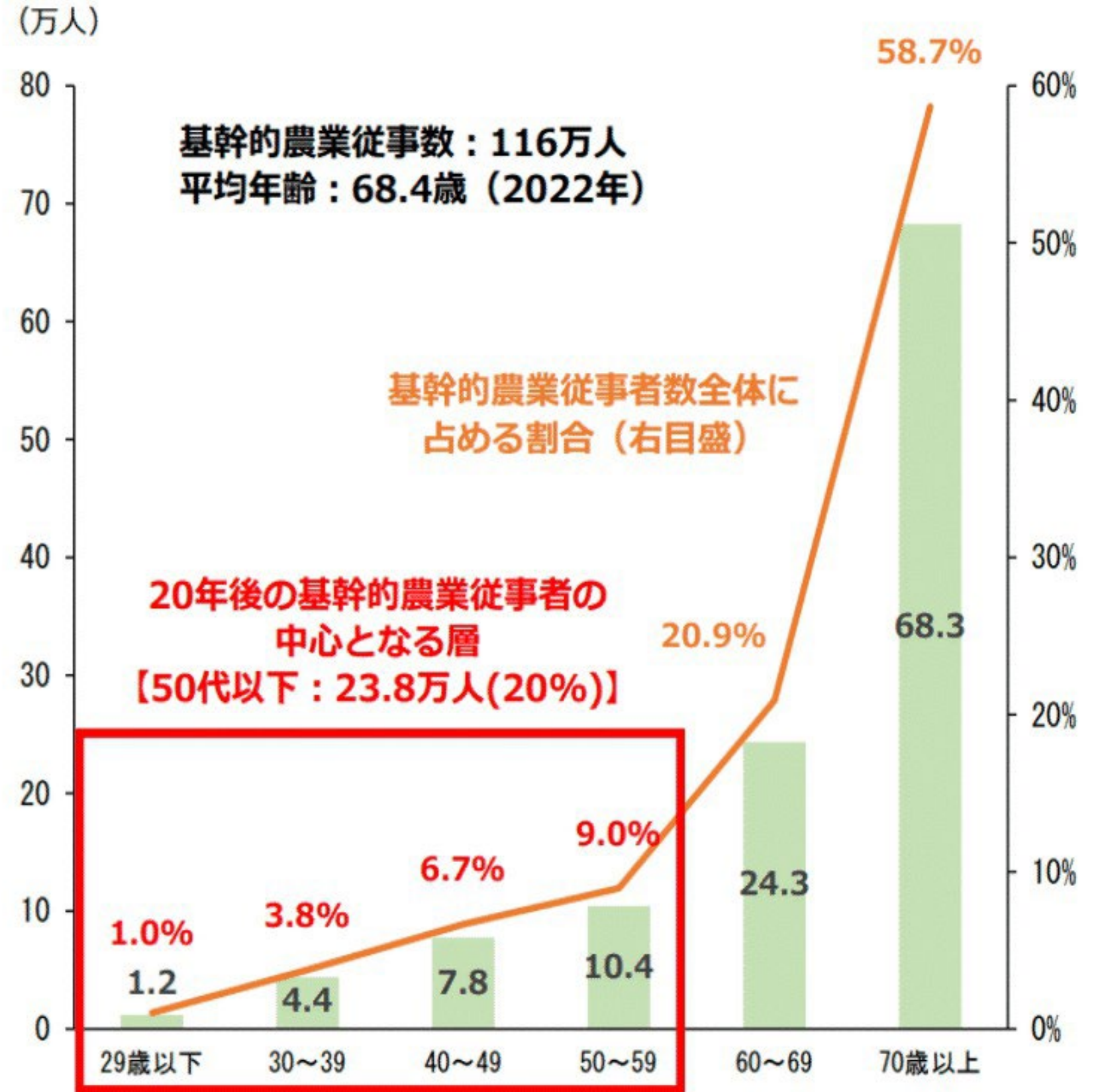
離農者数

約6万人

2030年の農業人口

約74万人(約40万戸)

基幹的農業従事者数の年齢構成 (2023年)

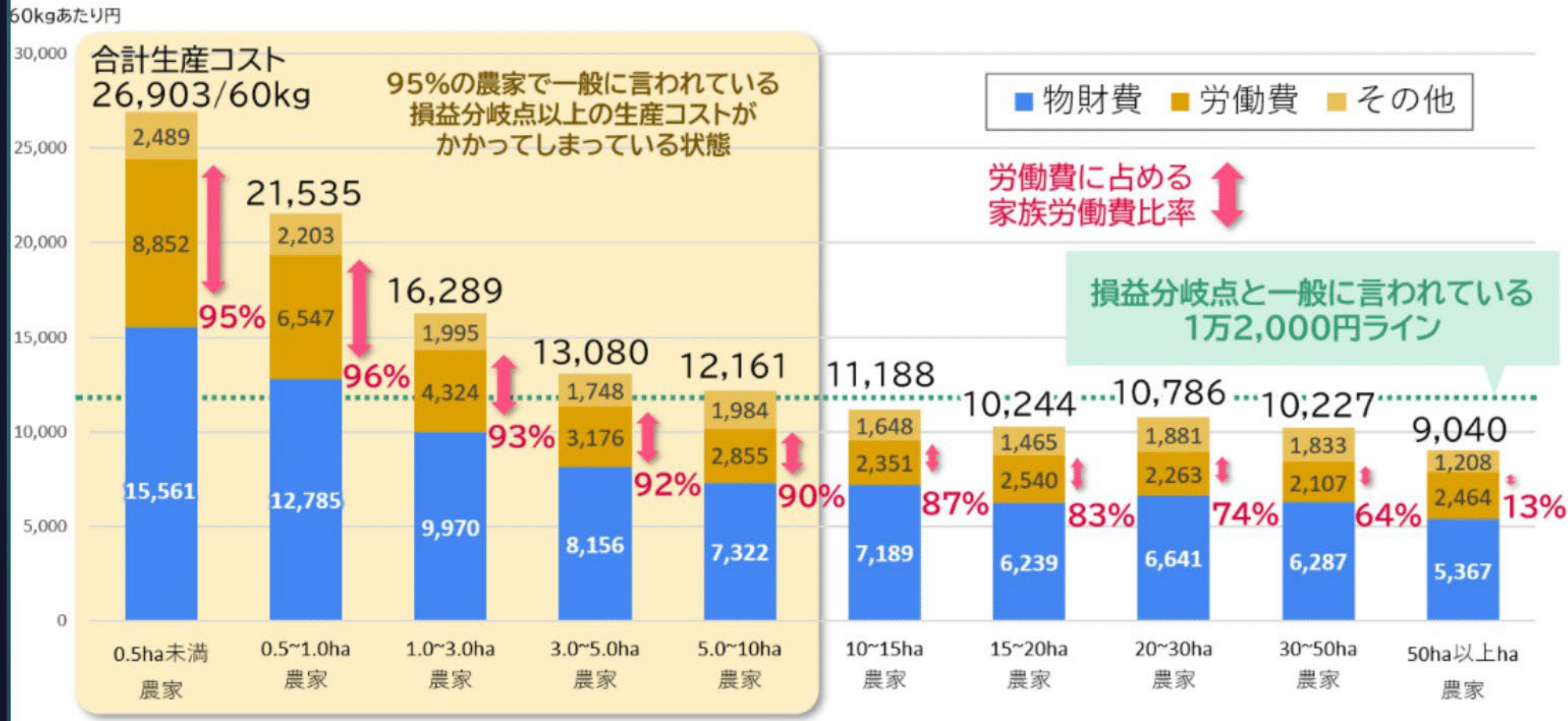


資料：農林水産省「農業構造動態調査」(2022年、2023年(概数値))

農家の内約7割が
米農家

2.米農家の実態

図2 コメ農家・経営規模別の60kgあたりの生産コスト



日本の米農家の

95%

10 ha未満の
小規模農家

かつ赤字経営

さいたま市では
10 ha以上の
農家はたった

11戸

(全体の0.4%)

米卸売価格の低下

現状の米卸価格

200円/kg

VS

経費(報酬及び
減価償却費含まず)

250円/kg

赤字

標準反収8俵(約500キロ)
と仮定した場合...

1反当たりの収入

収入 = 10万円

経費 = 12.5万円

(しかも無報酬...)

2.米農家の実態

我々は何故米作りを
始めたのか？

その答えは見沼田圃にある！



1260 ha
東京ドーム
270個分

3.見沼田んぼの現状

上山口新田地区約12 ha
(うち約2 haが有機栽培に転換)

見沼田圃全体面積

1260 ha

田圃76 ha(6%)

畑(約50%)

その他は宅地等

田圃の宅地化や
畑への転換が進行
(田圃が消滅)

慣行農業

(農薬や除草剤の使用)

→自然環境(土壌)の劣化
生態系への悪影響

見沼田んぼ消滅の危機

4. 見沼田んぼの利点

1

立地の良さ

(大宮、浦和、
さいたま新都心に近い)

→消費者が目の前に
(都市近郊型農業により
地産地消が可能)

2

特筆すべき景観

(写真家の有数の
撮影スポット)

3

田圃の区画が大きく
集約化が可能

→効率的な事業経営
が可能

5.我々の取り組み

無農薬
自然栽培により
自然環境を護る

見沼田んぼを
都市近郊型有機稲作
のモデル地区として
再生・護持を目指す



江戸時代から約300年続く
神沼と呼ばれた見沼田んぼ

6. 解決策

無農薬、自然栽培による 見沼田圃の米作りを ブランド化

無農薬有機栽培のお米

平均売価700円/kg以上 年間収入約350万円/1ha

慣行農業のお米

平均売価200円/kg 年間収入約100万円/1ha

↑ 3.5倍

経費約125万円/1ha

収支=約50万円

+

市場経費(物流費及び流通マージン=販売額の約5割)

見沼田んぼを

ブランド化

1. 有機栽培の産地へ
2. 生態系を守り、自然と共生する米作りを推進
3. 食の安全を志向する消費者への直販を推進
4. 地産地消の米づくりを推進

7.期待される成果

かつて神沼と呼ばれた見沼田んぼ…
無農薬自然栽培で

いやしる地へ

次世代が継承できる農業(稲作)の
姿を目指して…

7.期待される成果

更なる価格向上の期待

1000円/kg → 収入500万円/ha

経済的に持続可能な
農業を実現

8. 今後の課題

既存機械設備の老朽化への対応と
高齢化による後継者問題の解消

既存農家の機械設備(平均20年以上)

田圃の集約化に伴い

処理能力(石高)の高い

籾摺り乾燥設備を設置する必要性
(ライスセンター設置の必要性)

見沼たんぼを護持し、次世代が持続可能な農業を
実現するために

9.我々が目指すゴール



見沼田んぼの
活性化

生態系を護り
自然と共生

持続可能な
農業を実現
~次世代に繋ぐ
大きな懸け橋に~

生業となる米作り（計画案）

生業となる米作りへ（我々が目指すゴール）					備考
	慣行農法	有機農法	新有機	新有機	
販売kg単価	200	600	1000	1000	慣行農法対比5倍
コストkg	250	250			15万円/俵
目標コストkg	200	200	200	200	12万円/俵
流通経費	20%	20%	10%	10%	共同配送
販売経費	20%	20%	10%	10%	直販方式
諸経費計kg	80	240	200	200	
所得/kg	-130	110	600	600	
耕作面積／反／a		反収10a/420kg（7俵）		反収10a/500kg	
10	-650,000	462,000	2,520,000	3,000,000	
20	-1,300,000	924,000	5,040,000	6,000,000	
30	-1,950,000	1,386,000	7,560,000	9,000,000	目標値
40	-2,600,000	1,848,000	10,080,000	12,000,000	
50	-3,250,000	2,310,000	12,600,000	15,000,000	本目標値



仲間を募集しています！

ご意見もどうぞ

HP

minumanosato.com

NPO法人見沼の里



NPO法人見沼の里主催

由井寅子講演会



【プログラム】

司会：水野清重

- 09:30 受付開始
- 09:50 寅子先生入場
- 10:00 – 10:15 開会挨拶
見沼の里ご案内
- 10:15 – 11:45 講演（事前に頂いた質問への回答含む）※1時間30分（90分）
- 11:45 – 11:46 閉会挨拶
- 11:46 – 11:50 集合写真
（希望者のみ）
- 11:50 – 12:00 会場撤収

食、心、命を繋ぐ 自然農

～自然農のパワーで日本の農業問題を紐解く～

由井寅子講演会